



2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月14日

上場会社名 株式会社くふうカンパニー 上場取引所 東
コード番号 4376 URL <https://kufu.company/>
代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役 (氏名) 穂田 誉輝
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役 (氏名) 菅間 淳 TEL 03-6264-2323
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第1四半期の連結業績（2023年10月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	3,263	△33.2	△117	—	△138	—	△204	—
2023年9月期第1四半期	4,883	7.8	433	17.3	398	10.9	213	154.8

(注) 包括利益 2024年9月期第1四半期 △237百万円 (—%) 2023年9月期第1四半期 190百万円 (—%)
EBITDA 2024年9月期第1四半期 134百万円 (△80.3%) 2023年9月期第1四半期 685百万円 (9.5%)
「EBITDA」は、営業利益に減価償却費及びのれん償却額を加えて算出したものであります。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第1四半期	△3.54	—
2023年9月期第1四半期	3.72	3.71

(注) 2024年9月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第1四半期	19,649	10,969	48.2
2023年9月期	20,973	11,596	48.0

(参考) 自己資本 2024年9月期第1四半期 9,465百万円 2023年9月期 10,069百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—	—	—	—	—
2024年9月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

2024年9月期の業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから記載しておりません。
なお、当該理由につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）株式会社ゴールドエッグス、除外 1社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期1Q	58,302,539株	2023年9月期	58,301,719株
② 期末自己株式数	2024年9月期1Q	809,768株	2023年9月期	292,268株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期1Q	57,912,353株	2023年9月期1Q	57,292,608株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当社グループは“「くふう」で暮らしにひらめきを”を経営理念とし、「毎日の暮らし」及び「ライフイベント」において、生活者であるユーザーにとっての利便性や豊かさを最優先に考え、情報格差の解消や利便性の高いサービスづくりに取り組むとともに、ユーザーの主体的な意思決定や行動に繋がる価値提供を目指しております。

当第1四半期連結累計期間の経営成績については、売上高は3,263百万円（前年同四半期比33.2%減）、営業損失は117百万円（前年同四半期は営業利益433百万円）、経常損失は138百万円（前年同四半期は経常利益398百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は204百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益213百万円）となりました。

報告セグメント別の経営成績の概況は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、当第1四半期連結累計期間の分析は変更後の区分に基づいております。

<毎日の暮らし事業>

当事業は主に、株式会社ロゴガイドによるチラシ・買い物情報サービス「トクバイ」、株式会社くふうAIスタジオによるオンライン家計簿サービス「Zaim」、株式会社キッズスターによる子ども向け社会体験アプリ「ごっこランド」、株式会社しずおかオンラインによる地域情報メディア・サービス等の日常・地域生活領域の事業で構成されております。

当第1四半期連結累計期間において、「トクバイ」導入店舗の開拓においては、サービス登録店舗数が増加し、主要3業態（スーパーマーケット・ドラッグストア・ホームセンター）における情報の網羅性は向上したものの、有料掲載店舗数は伸び悩みました。また、ユーザーの購買行動等の具体的な生活行動に繋がる価値提供を目指し、「メディア」重視から「毎日の暮らしに役立つツール」重視へ戦略を転換したことに伴い、暮らしに関する総合情報メディア「くふうLive!」を事業譲渡いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における毎日の暮らし事業の売上高は1,016百万円（前年同四半期比8.4%減）、営業利益は141百万円（前年同四半期比45.6%減）となりました。

<ライフイベント事業>

当事業は主に、ハイアス・アンド・カンパニー株式会社によるコンサルティング事業及び建築施工事業、株式会社くふう住まいによる住宅・不動産専門メディア及び相談サービス、事業者向けSaaSツール、買取再販・仲介サービス、株式会社Seven Signatures Internationalによる富裕層向けコンサルティングサービス等の住まい領域の事業、並びに株式会社エニマリによるウェディング総合情報メディア、結婚式プロデュースサービス等の結婚領域の事業で構成されております。

当第1四半期連結累計期間において、住まい領域は、ハイアス・アンド・カンパニー株式会社が提供するコンサルティング事業については、新規受注数は伸び悩みましたが、引き続き加盟店企業に対する支援活動を推進いたしました。また、建築施工事業については、拠点閉鎖による整理等による経費削減が進んだものの、納期の遅延等も発生し減収となりました。株式会社くふう住まいが提供する不動産会社向け営業支援SaaSツールは堅調に販売が推移し、相談サービスのイエタテ事業はリーズナブルな価格帯の地元工務店を紹介できることを強みに、成約数が増加し収益に貢献しました。結婚領域は、有料広告掲載式場数の減少が底打ちするとともに、結婚式プロデュース事業は施行や受注が増加傾向となり、通期での黒字化に向けて概ね計画通り進捗いたしました。また、ハイアス・アンド・カンパニー株式会社において、スポーツ型のアミューズメントパーク施設「ニンジャ☆パーク」の運営を行う株式会社ゴールドエッグスの株式を取得し、連結子会社としました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるライフイベント事業の売上高は2,233百万円（前年同四半期比24.0%減）、営業利益は7百万円（前年同四半期比96.3%減）となりました。

<投資・インキュベーション事業>

当事業は主に、当社や株式会社くふうキャピタルによる投資事業、くふう少額短期保険株式会社による保険事業、株式会社くふうジオデータによる位置情報事業、株式会社RETRIPによる旅行・おでかけメディア事業で構成されております。

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの企業価値を高める出資及びM&A等の検討を継続して進めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における投資・インキュベーション事業の売上高は91百万円（前年同四半期比89.0%減）、営業損失は34百万円（前年同四半期は営業利益313百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は19,649百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,323百万円減少しました。これは主にその他流動資産が456百万円、のれんが426百万円増加した一方で、現金及び預金が2,685百万円減少したことによるものであります。

負債は8,680百万円となり、前連結会計年度末と比較し695百万円減少しました。これは主に未払法人税等が339百万円、1年内返済予定の長期借入金が214百万円、長期借入金が202百万円減少したことによるものであります。

純資産は10,969百万円となり、前連結会計年度末と比較し627百万円減少しました。これは主に資本剰余金が232百万円、利益剰余金が204百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期におきまして、コロナ禍による行動制限の緩和がすすみ、経済活動も徐々に回復していくことが期待される一方で、ウクライナ情勢の長期化や円安・物価高など社会生活を取り巻く環境は不透明な状況が続いていくものと見込んでおります。日常・地域生活領域においては、毎日の暮らしに役立つツールの提供を通じてユーザー接点の最大化を図るべく、サービスのブランド統合による認知向上、ID統合によるユーザーの利便性や機能的価値の向上に取り組んでまいります。住まい領域においては、領域内の組織再編を進めながら、工務店とのネットワークを活かしたサービス提供を推進してまいります。結婚領域においては、コロナ禍を経て少人数結婚式やフォトウェディングのニーズが拡大していることを踏まえ、これらのニーズに応える情報やサービスの提供を軸に利益創出を目指してまいります。また、グループ全体では、AI技術を活用したサービス開発や管理部門等の効率化に取り組むとともに、AI技術を活用することによって価値創造が期待できる事業への機動的な投資を実行していく予定であります。

なお、2023年11月14日付で公表いたしました「株式会社くふうカンパニーの完全子会社である株式会社くふう住まいによるハイアス・アンド・カンパニー株式会社の完全子会社化に関する株式交換契約締結のお知らせ」のとおり、グループ内における組織再編を進め、2024年2月1日付でハイアス・アンド・カンパニー株式会社を完全子会社といたしました。今後の住まい領域での成長基盤を構築するために、ハイアス・アンド・カンパニー株式会社及び当社グループが提供するサービス、組織体制、顧客基盤、人材、開発体制及びその他の経営リソースを融合し、事業価値の最大化を目指します。現時点において、当該組織再編における業績に与える影響は算定中であるため、2024年9月期の連結業績予想は未定とし、合理的に算出できるようになった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,405	6,720
売掛金	1,129	1,067
商品	321	311
仕掛品	185	313
原材料及び貯蔵品	6	16
販売用不動産	1,232	1,384
営業投資有価証券	1,334	1,420
その他	525	982
貸倒引当金	△18	△16
流動資産合計	14,122	12,200
固定資産		
有形固定資産	669	724
無形固定資産		
のれん	3,591	4,018
その他	794	859
無形固定資産合計	4,386	4,878
投資その他の資産		
投資有価証券	627	627
繰延税金資産	614	619
その他	780	831
貸倒引当金	△226	△231
投資その他の資産合計	1,795	1,846
固定資産合計	6,851	7,449
資産合計	20,973	19,649

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	823	709
支払備金	4	5
責任準備金	5	5
短期借入金	2,272	2,137
1年内返済予定の長期借入金	997	782
未払法人税等	457	118
契約負債	1,259	1,359
賞与引当金	11	2
ポイント引当金	4	4
訂正関連費用引当金	45	45
その他	811	836
流動負債合計	6,693	6,006
固定負債		
長期借入金	2,079	1,877
資産除去債務	129	134
繰延税金負債	32	30
株式給付引当金	101	99
退職給付に係る負債	21	21
役員退職慰労引当金	41	41
その他	274	468
固定負債合計	2,682	2,674
負債合計	9,376	8,680
純資産の部		
株主資本		
資本金	13	13
資本剰余金	8,452	8,220
利益剰余金	1,739	1,534
自己株式	△132	△304
株主資本合計	10,073	9,464
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△13	△4
為替換算調整勘定	9	5
その他の包括利益累計額合計	△4	0
新株予約権	10	9
非支配株主持分	1,517	1,493
純資産合計	11,596	10,969
負債純資産合計	20,973	19,649

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上高	4,883	3,263
売上原価	2,489	1,430
売上総利益	2,393	1,833
販売費及び一般管理費	1,959	1,950
営業利益又は営業損失(△)	433	△117
営業外収益		
受取利息	0	0
持分法による投資利益	16	0
その他	3	7
営業外収益合計	19	8
営業外費用		
支払利息	10	10
支払手数料	4	6
貸倒引当金繰入額	12	—
為替差損	14	10
その他	13	3
営業外費用合計	55	30
経常利益又は経常損失(△)	398	△138
特別利益		
資産除去債務履行差額	2	—
事業譲渡益	—	36
株式給付引当金戻入益	7	1
その他	0	0
特別利益合計	10	37
特別損失		
固定資産除却損	0	29
事業整理損失	7	—
訴訟関連損失	3	—
その他	3	—
特別損失合計	14	29
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	394	△130
法人税、住民税及び事業税	144	83
法人税等調整額	21	28
法人税等合計	166	111
四半期純利益又は四半期純損失(△)	228	△242
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	15	△37
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	213	△204

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	228	△242
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31	8
為替換算調整勘定	△5	△3
その他の包括利益合計	△37	4
四半期包括利益	190	△237
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	175	△200
非支配株主に係る四半期包括利益	15	△37

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2023年11月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式517,300株の取得を行い、自己株式が171百万円増加いたしました。この結果、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が304百万円となっております。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。